

平成28年1月19日

佐倉市上下水道事業管理者 椎名 哲 様

佐倉市上下水道ビジョンの策定及び料金等の在り方に関する懇話会  
会 長 三 枝 康 雄

### 「佐倉市上下水道ビジョン」の策定に関する提言

『佐倉市上下水道ビジョンの策定及び料金等の在り方に関する懇話会』では、佐倉市水道事業及び下水道事業（以下「上下水道事業」という。）が策定を進める佐倉市上下水道ビジョン（以下「ビジョン」という。）の検討に関して、事業者が目指すべき将来像やその実現に向けた施策の方向性など、今後の上下水道事業の健全運営に相応したものであるかについて審議を重ねてきました。

特に、懇話会では、水道事業における水需要の減少や、八ッ場ダムおよび霞ヶ浦導水事業（以下「ダム事業」という。）の進捗、更に上下水道事業の共通課題である老朽施設の更新事業や耐震化対策など、事業経営への影響が極めて顕著な案件を中心に、利用者アンケート調査の結果も参考にしながら活発な意見交換が行われました。

これらを踏まえてまとめられた当ビジョンについては、懇話会委員の意見が反映されているとともに、今後の上下水道事業の進むべき方向性や施策の展開なども的確に示されており、妥当であると認めます。

最後に、当ビジョンで掲げた目標達成に向けた施策や事業の効率的かつ効果的な実施により、ビジョンの基本理念である“快適な暮らしを未来につなぐ佐倉の上下水道”が確実に実現されることを期待し、下記意見を添えて提言とします。

## 記

1. 今回策定したビジョンを基に、上下水道利用者の声に常に耳を傾け、水道水の安定供給や汚水の適正処理、更には広報の推進など、より充実したサービスを提供していくことと、経営手腕を活かした企業としての健全経営との両立を目指してください。

2. 今後はダム事業の進捗をはじめ、人口減少による水需要の変化や災害対応など、想定外の事態が発生することも予想されます。

よって、今後、当ビジョンについては、位置づけた事業の確実な実施、適正な財務運営が不可欠であると考えますので、策定後における社会情勢の変化に応じた適切な運用、更には見直し等を検討する中で、新たな課題についても的確に対応してください。

佐倉市上下水道ビジョンの策定及び料金等の在り方に関する懇話会

会 長 三 枝 康 雄

副会長 上 田 節 子

委 員 山 内 久

委 員 宮 田 年 康

委 員 松 井 強

委 員 柳 川 由 美 子